

2分 で分かる注目レポート

「World Investment Report 2026」

発行

国連貿易開発会議
(UNCTAD)

海外直接投資の世界的動向を調査・分析

発行機関

国連貿易開発会議（UNCTAD）は、1964年に常設の政府間機関として設置された。ジュネーブに所在し、開発途上国や経済移行国が、開発、貧困削減、世界経済への統合のための原動力として貿易と投資を利用できるようにすることを目的としている。貿易と開発、金融、投資、技術、持続可能な開発の関連問題に総合的に対応する国連の中心的な機関である。

レポート紹介

国連貿易開発会議が1991年より毎年作成している報告書。海外直接投資（FDI）の世界的な動向が分析されている他、各国のFDIについての統計など、投資分野に関する有益な情報を提供している。

OUTLINE

- 2025年の世界の対内直接投資（FDI）額は、約1兆6,243億米ドル。前年比6.0%増と回復傾向が見られたが、回復は脆弱で、国・地域や業種による偏りが大きかった。先進国・地域向けは7,235億米ドルで前年比11.5%増、新興・途上国・地域は9,008億米ドルで2.1%増だった。
- 業種別では、AIインフラ、半導体、重要鉱物など戦略的分野の伸びが目立った。これらの分野が新規事業への投資に占める割合は44%で、2020年から大きく上昇した（図表1）。
- 過去3年間に自国投資に大きな影響を与えた外部要因を聞いた調査では、「地政学的緊張・紛争」「世界的な経済減速」などが上位に挙がった（図表2）。

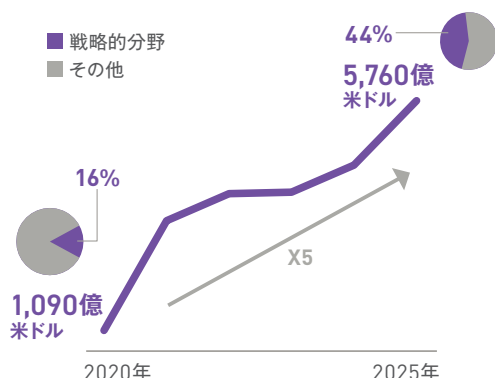


◀ レポートは2026年7月に発表された

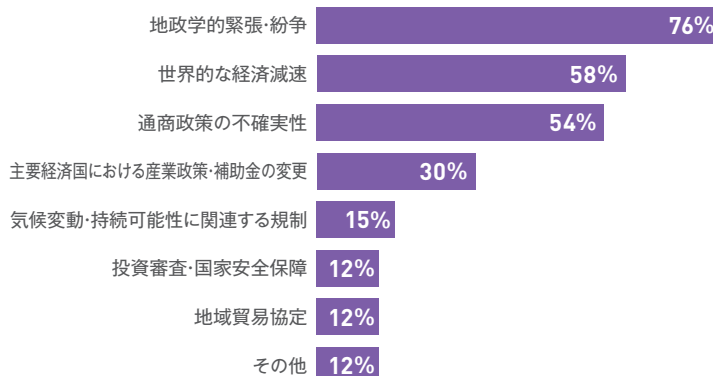
▼ 世界のFDIでは、データセンターなど、人工知能（AI）関連インフラ整備などの投資が増えている



■ 図表1 戦略的分野へのFDI額と新規事業への投資に対する割合の推移



■ 図表2 過去3年でFDIに大きな影響を与えた要因（2026年 UNCTAD IPA 調査）



（出所）「World Investment Report 2026」のデータをもとに当社作成